

『健康まちづくりフォーラム』 ご紹介



健康まちづくりフォーラム
Collaborate for a Well-Being Community

フォーラム運営団体ご紹介（生涯健康社会推進機構）

すべての世代が“生涯健康”で生きいきと輝ける社会へ。

日本社会が人生100年時代を迎え、健康寿命の延伸が大きな社会課題となるなか、当機構は、生涯にわたって**心と体**の健康を維持するための、幅広い研究活動を**産官学連携**で推進していきます。そしてその成果を**社会へ展開**していくことで、すべての世代が生きいきと、安心して、自分らしく活躍できる、**生涯健康社会の実現**を目的とします。

理事長

金指 潔
東急不動産HD 取締役会長

理事

新井 平伊
アルクリニック東京 院長

特別顧問

佐藤 信紘
学校法人順天堂 理事
順天堂大学 特任教授

副理事長

新井 一
学校法人順天堂 理事長補佐
前順天堂大学学長

理事

加藤 利男
高齢者住宅財団 理事長
元国土交通省 都市局長

顧問

壺岐 浩一
元第一生命 代表取締役副社長

副理事長

新井 佐恵子
公認会計士
白鷗大学 特任教授

監事

瓜生 健太郎
瓜生・糸賀法律事務所
代表弁護士

顧問

山中 光茂
しろひげ在宅診療所 院長
前三重県松阪市 市長

専務理事 事務局長

大川 朋宏
東急不動産社会連携室 室長



フォーラム運営団体ご紹介（構想日本）

構想日本



代表理事
加藤 秀樹



理事
伊藤 伸

構想日本は社会を変える「動くシンクタンク」です。

現場のチカラを結集し、多くの人を巻き込んで社会のことを「自分ごと」にしていく。構想日本は、そうやって社会を良くしていく「動くシンクタンク」です。

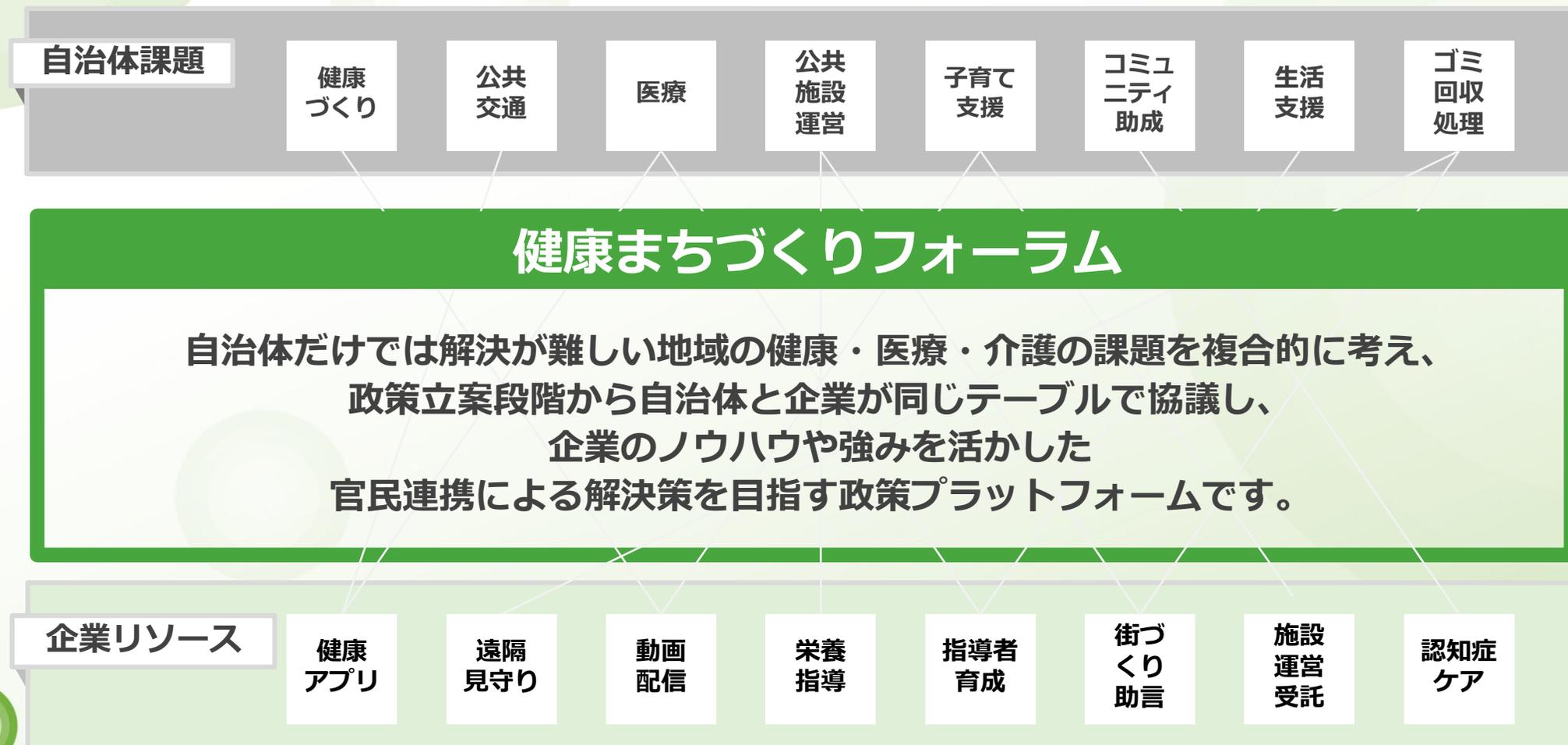
“社会のこと”を「自分ごと」にすることから始めます。

日本の社会には改善できること、しなければならないことが多くあります。それには、いろいろな理由がありますが、つきつめるとそれは私たち自身の責任です。国民が社会のことを政治家や公務員にまかせてきた。つまり、政治や行政を「他人ごと」にしてきたからです。私たちは大勢の「ふつうの人」を巻き込んで、社会のことを「自分ごと」にする様々な試みを行っています。そして多くの課題を解決してきました。医療・介護も、教育も、まちづくりも、すべてそこから始まります。

構想日本は非営利の団体です。

構想日本は会員に支えられて運営しています。会員の会費が収益の中心です。だから政党、政治家、企業、誰からの影響もなく正面からモノが言えるのです。

健康まちづくりフォーラムとは



官民連携の為の多様なアプローチ

3つのアプローチから官民連携を推進し、社会課題解決を目指します

リアル開催イベント

フォーラム
総会

企業代表者と
自治体代表者が一堂に
会して関係性を深める
リアルイベント



関係性構築



WEBセミナー・会員専用DB

企業リソース
/自治体課題
紹介セミナー

自治体事例
紹介セミナー

会員専用
データベース

企業リソースや自治体課題を相互に
共有するオンラインセミナーと
会員専用データベース



情報共有・市場調査



分科会

自治体協議会

自治体の課題に対して
自治体と企業が同じテーブル
について改善策を具体的に協議
を行う分科会



具体的政策立案



自治体会員と企業会員がリアルな場で顔を合わせながら、意見交換・事例共有を行う総会を毎年開催。正副首長、自治体幹部職員及び企業経営層が参加し相互の関係性を深めます



過去開催時のテーマ例

『地域で取り組む認知症予防・ケア』

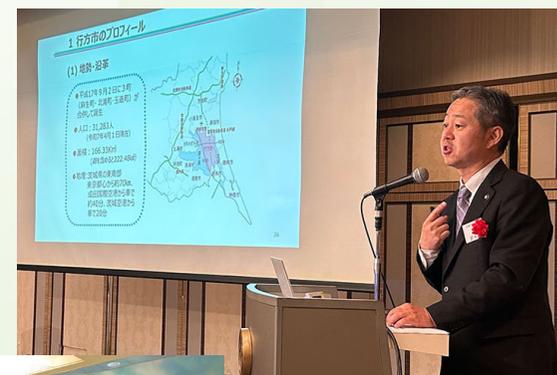
『自治体DXとデジタルヘルスケア』

『新しい官民連携の在り方』

健康まちづくりフォーラム総会2025

リアル開催イベント

2025年4月21日ホテルニューオータニにて2025年の総会を開催。
25名の正副首長をはじめ29の自治体と25の企業から100名超が参加
当日は小泉進次郎議員ら国会議員による地方創生に関するディスカッションと、代表首長による事例紹介、またセミナー終了後は参加者による交流会を開催し、会員相互の関係性を深めました



健康まちづくりフォーラム：自治体プロジェクトピッチ

リアル開催イベント

首長による自治体課題共有と企業からの解決策の提案・協議を行う「自治体プロジェクトピッチ」を、2024年度は北海道羊蹄山麓7町村合同、2025年は関西4自治体合同で開催。健康や医療、住民サービス、モビリティなど様々な課題について、自治体と企業の垣根を超えた議論が行われ、実際の政策への反映が図られた

【羊蹄山麓7自治体合同ピッチ】



【関西4自治体合同ピッチ】



各企業のもつサービス、自治体のもつ課題や事例を、WEBセミナーや会員専用DBで発信・閲覧することで、課題解決につなげる。

自治体事例共有セミナー

正副首長様、政策立案／健康／福祉／医療関連部署ご担当者様向け

事例共有セミナー

地域医療構築の‘新たなカタチ’

- 住民健康データから見る新しい医療の在り方 -



行方市
NAMEGATA

茨城県行方市では、医療ニーズを抱える75歳以上の人口は増加傾向である一方、医療提供機関の縮小等の課題を抱えている。地域医療体制の構築に向けて民間企業とタッグを組み現状のデータ分析と将来推計を踏まえ医療ニーズの分析を活用して理想的な供給体制の可視化を図った。今回は住民の健康データから見る「官民連携」×「地域医療構築」にクローズアップ！取組み中の苦悩や具体的な手法について、当事者の生の声に迫ります。

2024 / 5 / 23 (木)
15:00-15:45 @Zoomセミナー

▼ PROGRAM

- 15:00-15:05 開会挨拶
- 15:05-15:15 事例発表：行方市 企画部政策秘書課 課長補佐 仲田智美
- 15:15-15:35 取組発表：株式会社メディアヴァ 代表取締役 大石佳能子 他
- 15:35-15:38 今後の展開予定
- 15:38-15:43 質疑応答

▼ PROFILE

大石佳能子 大阪大学法学部卒、ハーバードビジネススクールMBA、マッキンゼー・アンド・カンパニー（日本、米国）のパートナーを経て、医療介護コンサルティングを手掛ける株式会社メディアヴァを設立。短期改革推進会議委員（医療・介護・感染症対策WG元座長）の他、厚生労働省「これからの医療経営の在り方に関する検討会」や経済産業省等の検討委員を歴任。

要申込

- *本セミナーへの申込詳細は別途をご覧ください。
- *当日のご参加が難しい場合、アーカイブ配信にお申込みください。

主催：健康まちづくりフォーラム（生涯健康社会推進機構／構想日本）

会員専用データベース（イメージ）

自治体課題検索

対象条件

新規事業 既存事業 掲載中のみ 掲載終了を含む キープ中の課題のみ

▼ 第1検索

<input checked="" type="checkbox"/> 企画	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 財政 <input type="checkbox"/> 施設整備 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> 情報推進
<input checked="" type="checkbox"/> 地域振興	<input type="checkbox"/> 地域センター <input type="checkbox"/> 集会所 <input type="checkbox"/> コミュニティ <input type="checkbox"/> 地域活性化
<input checked="" type="checkbox"/> 健康増進	<input type="checkbox"/> スポーツ推進 <input type="checkbox"/> 保健福祉 <input type="checkbox"/> 健康福祉 <input type="checkbox"/> 介護予防
<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 地域包括ケアシステム <input type="checkbox"/> 社会福祉 <input type="checkbox"/> 生活保護 <input type="checkbox"/> 生涯福祉 <input type="checkbox"/> 介護福祉
<input checked="" type="checkbox"/> 子育て	<input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> 児童福祉 <input type="checkbox"/> 学校教育

▼ 第2検索

<input checked="" type="checkbox"/> 医療	<input type="checkbox"/> 遠隔医療 <input type="checkbox"/> 在宅医療 <input type="checkbox"/> 病院再生 <input type="checkbox"/> セルフメディケーション
<input checked="" type="checkbox"/> 介護	<input type="checkbox"/> パーソナルモビリティ <input type="checkbox"/> 自立支援 <input type="checkbox"/> 生活支援
<input checked="" type="checkbox"/> 介護予防	<input type="checkbox"/> 未病 <input type="checkbox"/> 健康増進 <input type="checkbox"/> 介護予防 <input type="checkbox"/> 健診 <input type="checkbox"/> 健診促進
<input checked="" type="checkbox"/> 交通	<input type="checkbox"/> 交通 <input type="checkbox"/> バス・鉄道 <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他の搬送サービス
<input checked="" type="checkbox"/> 地域活性・文化振興	<input type="checkbox"/> 生涯学習 <input type="checkbox"/> 観光・レジャー <input type="checkbox"/> 旅行 <input type="checkbox"/> 地域コミュニティ
<input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 住宅 <input type="checkbox"/> 食 <input type="checkbox"/> 衣 <input type="checkbox"/> サプリメント

▼ 第3検索

事業予算

未選択

健康まちづくりフォーラム：個別自治体との政策協議（分科会）

会員自治体と企業による官民連携協議を個別に実施。龍ヶ崎市、長岡京市、富岡市、横須賀市、有田市、行方市においてそれぞれの課題解決につながる官民連携プロジェクトを継続して推進



横須賀市版アクティブ・チャイルド・プログラム (ACP) について	
目的	体力・運動能力・運動習慣等調査に基いたる横須賀市児童・生徒の特徴を踏まえ、多様な動きや運動の質に着目した体育授業の実践により、児童生徒の体力向上・息上げを図る。
横須賀市児童の特徴とは	(児童生徒体力・運動能力・運動習慣等調査の結果から) 運動好きで、身体を動かす時間も確保できているが、体力向上には足りず、追加プログラムが必要で、児童生徒の出席率の向上が期待される。
取組の方向	健康まちづくりチームが、その役割をもち、横須賀市児童会委員等との連携体制を構築し、日本スポーツ協会 (JSP) が開発したアクティブ・チャイルド・プログラムを本事業で実践する。
ACPとは	子どもが発達段階に応じて身につけていくことが望ましい動きを、習得するための運動プログラムとして開発されたもの。楽しみながら積極的に身体を動かすプログラムにより、身体活動の習慣化やスポーツ実践へのつながりも意図している。
2025年度の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> 〇公立小学校からキッズ校 (9~10校程度) を選定し、3年間の体育授業の回数を (各クラス、年間) について、各学年毎箇年の割合で (準備期間) をアクティブ・チャイルド・プログラムに置き換える。(当該3年間は対象児童を限定して実施し、実践と検証の進捗を報告する) 〇運動有経験等のアンケート及び体力調査の結果を基に、より効果的に行う。
現状	<ul style="list-style-type: none"> 【関係団体及び役割】 <ul style="list-style-type: none"> ・日本スポーツ協会：プログラム監修 (スポーツ科学研究) ・横須賀市教育委員会：小学校における実施 (実践有) ・スポーツオアシス：各校におけるACPの指導実施及び準備期間後の授業支援 (25年度からはボランティア) ・生涯健康社会推進機構・全体統括・コーディネート、効果検証 〇2024年度は、JSPのスポーツ科学研究の業績報告による実行を策定 (2025年1月、288クラス) 〇2024年度による業績報告の報告を予定 (2025年3月目標) 〇2025年度の手当確保に向けて、スポーツ庁のSport in Life コンソーシアムに申請書が追加 (2024年12月) 〇2025年度のスポーツ庁委託事業の獲得を目標



ロッテ・龍ヶ崎市口腔ケア協定



長岡京市ガバメントピッチ



富岡市公民館活用PJ



横須賀市小中生体力PJ

○これまでの官民連携事業の実施事例

自治体	企業	テーマ	概要
茨城県 行方市	メディヴァ	医療戦略再構築	業務を受託したメディヴァにより、2回に渡り、市長出席の報告会を実施。行方市民の健康状況とエビデンスベースの方向性について報告。今後実施フェーズへ移行予定。
和歌山県 有田市	ケアプロ	健診促進	市主催の防災イベントと併せて、ケアプロ主催の出張健診実施。50名の想定に対して約100名が受診。専業主婦など、これまで健診に来なかった層への新たなアプローチとして市も注目。
和歌山県 有田市	ロッテ	口腔ケア啓発	子どもから高齢者まで幅広い世代の方（520名）が参加する中、株式会社ロッテの坂ノ下典正博士による講演とトークセッションを開催。噛む力の維持と介護予防・認知症予防との関係に関するお話や、自分の咀嚼能力を測定できる『咀嚼力チェックガム』や、フーセンガムなどのトレーニング向けのガム、お口のエクササイズ資料の配布などを実施。
高知県 宿毛市	アルクニック東京	認知症リスク軽減	認知症リスクの軽減などを目的に、全市民を対象とした認知症予防策としてWEB動画配信「on-line健脳カフェ」を導入。今後は長期的に継続し効果検証を行う予定。自治体での導入は全国で初となりメディアからも注目を集める。



健康まちづくりフォーラム：会員一覧

*2026.3月時点

●会員自治体 計54 県市区町村

関西エリア

京都府福知山市 奈良県奈良市
京都府向日市 奈良県川西町
京都府長岡京市 奈良県三宅町
京都府京田辺市 奈良県田原本町
大阪府東大阪市 和歌山県有田市
兵庫県姫路市 兵庫県川西市
兵庫県豊岡市

東海・甲信越エリア

新潟県加茂市 静岡県浜松市
山梨県大月市 静岡県磐田市
山梨県丹波山村 静岡県掛川市
長野県長野市 静岡県三島市
静岡県静岡市
静岡県湖西市

北海道・東北エリア

北海道二セコ町 宮城県気仙沼市
北海道京極町 宮城県白石市
北海道留寿都村 山形県山形市
北海道俱知安町 山形県南陽市
青森県青森市 山形県西川町
青森県

九州・四国エリア

徳島県
徳島県徳島市
香川県高松市
高知県宿毛市
福岡県古賀市

首都圏エリア

埼玉県美里町
千葉県銚子市
千葉県市原市
千葉県君津市
千葉県香取市
東京都文京区
東京都中野区
東京都江戸川区
神奈川県横須賀市

北関東エリア

茨城県龍ヶ崎市
茨城県行方市
茨城県東海村
栃木県宇都宮市
栃木県那須塩原市
群馬県富岡市

健康まちづくりフォーラム：会員一覧

* 2026.3月時点
* 手続き中含む

● 企業会員 計34社

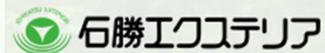
住民対象

街づくり

モビリティ



暮らし

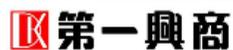


観光



健康づくり

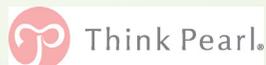
未病



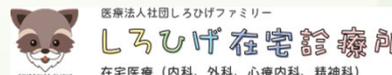
一生涯のパートナー



予防



医療



行政対象

業務改善・DX推進

DX



マーケティング



その他



ご入会のメリット

入会金・会費
無料

ご面倒な承認や簡単な
手続きでご加入
いただけます

イベント参加は
任意

各自治体のご状況に
合わせて選択できます

事務局による
サポート

現状分析・課題抽出、
補助金・交付金申請、
連携支援 等



よくあるご質問

- **入会によって、何かしなければならないこと（義務）はありますか？**
イベントや分科会への参加は任意であり、特にはございません。
- **他自治体の事例を知るにはどうしたら良いですか？**
イベントやセミナーの他、メールマガジンにて他自治体の事例等、
情報を受け取ることができます。
また「会員専用データベース」へ課題をご登録をいただくと、
企業からの提案や、フォーラム事務局からのマッチング支援を
受けやすくなります。
- **退会はいつでも可能ですか？**
退会は随意に行っていただけます。



よくあるご質問

- **窓口となる部局は、健康関連部局でなければいけませんか？**
かならずしも健康関連部局である必要はありません。
政策全体を取りまとめる部局など、様々な例がございます。
- **補助金申請に関するサポートも、無料ですか？**
はい、無料です。
会員専用データベース、あるいはメールにていつでもお気軽にご相談ください。



お問い合わせ

一般社団法人 生涯健康社会推進機構 健康まちづくりフォーラム運営事務局

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1丁目21番1号
渋谷ソラスタ11階

【お問い合わせ】 info_kenkoforum@shogaikenko.or.jp



生涯健康社会推進機構HP



健康まちづくりフォーラムHP



LHWA